

出版指標

NEWS RELEASE

【速報】2025年コミック市場は1.7%減の6,925億円 7年連続のプラスから一転、マイナスに

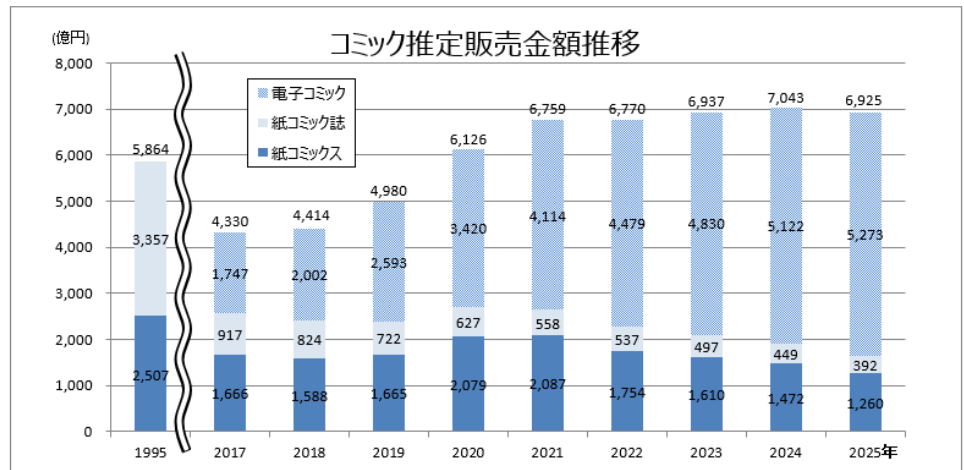
出版業界の調査研究機関である(公社)全国出版協会・出版科学研究所(所在地:東京都新宿区 理事長:近藤敏貴)は、2025年(1~12月期累計)のコミック市場(推定販売金額)を発表しました。

紙と電子を合わせたコミック市場は、前年比1.7%減の6,925億円と、7年連続のプラスで過去最高を更新した前年から一転、マイナスとなりました。内訳は紙のコミックス(単行本)とコミック誌を合わせた推定販売金額が同14.0%減の1,652億円、電子コミックが同2.9%増の5,273億円。電子コミックは引き続き伸長しましたが、伸び率の鈍化が鮮明になっています。コミック市場のシェアは紙が23.9%、電子が76.1%。出版市場におけるコミック(紙+電子)のシェアは前年同率の44.8%となりました。

紙コミックス(単行本)は14.4%減の1,260億円

紙のコミック市場は前年比14.0%減の1,652億円。内訳はコミックスが同14.4%減の1,260億円、コミック誌は同12.7%減の392億円。ともに1割以上の減少となり、これまで以上に厳しい数字となりました。

24年に『呪術廻戦』『僕のヒーローアカデミア』『推しの子』(いずれも集英社)などビッグタイトルが相次いで完結。25年は『メダリスト』『薫る花は凛と咲く』(いずれも講談社)などメディア化作品でのヒットが生まれましたが、規模はやや小粒化。既刊・新刊ともに読者のデジタルシフトが進んでおり、紙コミックスの販売は急激に縮小しています。コミック誌は、取次会社の帳合の変更にともない販売中止するコンビニ店舗があったこともあり返品率が大幅に悪化しました。一方で、『てれコロスペシャル』増刊「コロちゃお」(小学館)が大部数で刊行され、実売も好調となるなど、単号では売り伸ばす事例が見られました。



■コミック推定販売金額

(単位: 億円、%)

		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	前年比
紙版	コミックス	1,666	1,588	1,665	2,079	2,087	1,754	1,610	1,472	1,260	85.6
	コミック誌	917	824	722	627	558	537	497	449	392	87.3
	小計	2,583	2,412	2,387	2,706	2,645	2,291	2,107	1,921	1,652	86.0
電子コミック (電子コミック誌含む)		1,747	2,002	2,593	3,420	4,114	4,479	4,830	5,122	5,273	102.9
合計		4,330	4,414	4,980	6,126	6,759	6,770	6,937	7,043	6,925	98.3

電子コミックは2.9%増、伸び率鈍化

電子コミックは前年比2.9%増の5,273億円。これまでコミック市場を大きく牽引してきた電子コミックですが、25年は伸び率が急激に鈍化しました。本格的な成熟期を迎え新規ユーザーの獲得が困難になるなかで、各ストアで大型ポイント還元や割引キャンペーン、期間限定の全話無料施策が積極的に実施されました。

※詳細に関しては、「季刊 出版指標」2026年春号(4月24日刊行)にて発表いたします。